

教育委員会定例会（平成21年1月）会議録

1. 日 時	平成21年1月8日（木） 16:00 ～ 17:10
2. 場 所	新居浜市立角野公民館 2階 大会議室
3. 出 席 者	委員長 小野正師 委員 宇野征一 太田恵理子 栗田敬子 教育長 阿部義澄 事務局長 池内貞二 総括次長 日野清 次長 真鍋智明 高橋康文 課長 近藤清治 村上久和 館長 坂本睦美
4. 教育長の 一般報告	教育長報告 12月分行事報告及び1月分行事予定について その他
5. 記録者氏名	社会教育課 日野里美
6. 会議の概要	<議案> 議案第1号 平成21年度教育基本方針について（原案可決） <その他> (1) 子どもたちの成長を願って（平成21年度教育委員会取組方針）（案）について (2) 平成21年度教育委員会臨時・非常勤職員の公募について

<p>小野委員長</p>	<p>みなさん、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。これから年度末にかけて何かと忙しくなるかと思ひますが、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは定刻がまいりましたので、平成21年第1回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。会期は本日限りといたします。本日の会議録署名委員は、栗田委員さんと宇野委員さんにお願ひいたします。平成20年第12回定例会の会議録の承認については、太田委員さんと栗田委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは教育長さんの一般報告からお願ひいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>12月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>5日 角野中学校男子と新居浜東中学校女子の駅伝チームが、市長に第28回愛媛中学駅伝競走大会で優勝し、12月21日山口市で開催される全国大会への参加報告に来られました。全国大会では、男子14位、女子41位の成績を残してくれました。選手並びに応援していただいた関係者の方々にお礼申し上げます。今回の経験を生かした中学生活から更に前進して行ってほしいものです。</p> <p>6日 第27回新居浜市社会福祉大会が開催され、表彰や体験発表等が行われました。体験発表では中萩中学校、角野中学校と新居浜東高等学校の生徒が行い、入浴や食事の介助を通して、「経験を経験で終わらせたくない。自分の進路選択の一つとしたい。」と述べられました。有意義な体験活動であったことが知らされました。</p> <p>7日 第33回市P連音楽発表会が「笑顔で友情の輪を広げよう」のテーマのもとに14グループで26校の保護者の参加で行われました。手話での演奏を行うなど、いろいろな工夫を凝らして鑑賞者を楽しませてくれた2時間でした。</p> <p>「第24回新居浜愛球会チャリティー大会」が開催されました。9チームが2週間にわたって試合を行い競技の進行に従ってチャリティー募金がたまって、社会福祉協議会へ贈られました。</p> <p>9日10日11日と12月市議会本会議が開催されました。今議会では、8名の議員さんから質問がありました。主な質問として、学校教育の中での選挙活動や読書環境の整備、市民文化センターの改修、学校選択制の成果と課題、学校評議員、廃油の利活用、子供の心の安全・安心、就学援助、全国学力・学習状況調査結果の活用について等の質問が行われました。</p> <p>12日 県教育委員会と東予教育事務所主催の平成20年度「児童生徒をまもり育てる協議会」が開催され、西条警察署生活安全課長の講話や関係の各市からいじめ不登校についての取組が分科会で発表されました。</p>

第42回平成21年度にははま春の市民文化祭の開催についての運営委員会が持たれました。

13日 中学生海外派遣事業アメリカ訪問団報告会が、広く訪問の成果を修め、同事業の推進に資するとともに国際理解について啓発を行う目的で行われました。参加生徒にとってホストファミリーとの8泊9日間の生活体験と学校生活が強い印象を与えているように感じました。

14日 新居浜中央ライオンズクラブの皆さんの支援を受けて、第3回新居浜市こころのことばコンクールの表彰式が開催されました。市内の小中学生から222点の応募があり、日頃の思いが伝えられました。子どもたちの心を綴った気持ちを、多くの方々に伝えていきたいと思います。また、記念行事として、マリオネット急行による人形劇「泣いた赤おに」が上演されました。

新居浜の冬の風物となる、金栄小学校のドリームツリーの点灯式がもたれました。新居浜西高等学校の吹奏楽部の演奏や新居浜マンドリンクラブの軽快な演奏で盛り上げてくれました。また、豚汁に地域の人たちの心も身体も満たされた思いでした。

15日 第49回全国体育指導委員研究協議会が幕張メッセで開催され、平成20年度体育指導委員功労者文部科学大臣表彰として金子校区の丹下笑子さんが表彰されました。

16日 住友重機労働組合連合会愛媛地区本部より、市内小学校17校に対して図書券が贈呈されました。昭和51年から毎年行われ、今年で33回目の温かい「心」を届けていただきました。

17日 多喜浜小学校が学校や地域で取り組む防災教育を顕彰する「ぼうさい甲子園」1・17防災未来賞の受賞団体として奨励賞を受賞しました。江戸時代から塩田の町として栄えましたが、地盤が弱く、地震による液状化の被害を受けやすい地域でもあり、その歴史と結びつけながら災害学習を行った実績が認められました。また、金子小学校において、愛媛大学との共催事業である防災教育プログラムとして、四国防災八十八話の紙芝居での授業が行われました。愛媛大学の鳥居謙一教授をはじめ大学関係者3名が6年生4クラスの総合的な学習の時間に、別子銅山での史実に基づいた紙芝居を実演し、意見交換を通して感想を書きました。船木小学校、多喜浜小学校、泉川小学校でも実施されました。お手元の感想文をお読みください。

18日 本会議委員長報告が行われました。

25日 公立幼稚園・小・中学校第2学期終業式が行われ、楽しい冬休みを迎えました。

新居浜工業高等専門学校の「現代GPものづくり教育研究フォーラム・新居浜高専教育フォーラム2008」が開催されました。

26日 市長から年末訓示が行われました。

	<p>28日 平成20年度新居浜少年少女合唱団定期演奏会が開催されました。今年は合唱団の10周年記念委嘱作品「作曲家小林秀雄の世界」・「ぼくらの町のうた」が再演されました。作品は郷土の誇りとする「別子銅山」「瀬戸内海」「新居浜太鼓祭り」を題材にしたものでした。</p> <p>1月2日 平成21年武揚会の稽古初めが、武徳殿で凜とした厳粛な雰囲気の中で執り行われました。</p> <p>5日 市長から年始訓示が行われました。</p> <p>後期「発達支援スキルアップ連続講座」が開始され、17日までに4回の講座が持たれます。</p> <p>7日 若水自治会で七草がゆの行事が持たれました。早朝の6時からつづら淵でのお水取り行事、7時から七草がゆ行事が行われました。真冬の早朝からの行事にも関わらず、地域の大人たちに交じって、自治会内の小・中学生約30名近くが元気に役割を持って、参加していました。</p> <p>8日 公立幼稚園・小・中学校第3学期始業式 その他、1月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>11日 平成21年成人式</p> <p>14日 臨時校長会</p> <p>17日 平成20年度企画展「高橋一壽洋画展」(~25日)</p> <p>18日 新居浜市小中学生科学奨励賞発表会(科学博物館) 第24回新居浜凧あげ大会(マリパーク多目的広場)</p> <p>20日 授業評価システム構築事業研究発表会(西中)</p> <p>21日 学力向上実践研究推進事業新居浜地区協議会(中萩小)</p> <p>23日 新居浜市小中学校教育課程研修会</p> <p>25日 新居浜市愛護班連絡協議会研究大会(文化振興会館)</p> <p>27日 新居浜市郷土美術館協議会(郷土美術館)</p> <p>29日 新居浜市児童生徒をまもり育てる協議会連絡会</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p> <p>小野委員長 ありがとうございます。何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>栗田委員 12月13日の中学生海外派遣事業アメリカ訪問団の報告を聞きまして、2回目にもなると、より充実しているなど思いました。子どもたちが新居浜市の各小・中学校の紹介をしたというのを聞いて、今後も頑張っていたきたいと嬉しく思いました。</p> <p>小野委員長 ありがとうございます。その他はよろしいでしょうか。 続きまして、議案の審議に移ります。議案第1号 平成21年度教</p>
--	--

<p>日野総括次長</p>	<p>育方針について、ご説明をよろしくお願ひいたします。</p> <p>はい。資料7ページをお開け下さい。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>平成21年度も引続きこの基本方針に基づき事業を推進して参りたいと存じます。ご協賛をよろしくお願ひいたします。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございます。ただ今ご説明をいただいたとおりでございますが、何かご意見等はございませんか。</p> <p>平成18年度に見直しをして、20年に7番に“防災等”という文言が追加されたという事ですよ。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>平成18年度に見直しが行われてまだあまり経ってないので、大きな問題が無ければ5か年はこの方針でいきたいと思ひます。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ご意見はございませんか。それでは、議案第1号について、ご承認いただけます方は、挙手をお願いいたします。(全員挙手)</p> <p>全員挙手ですので承認といたします。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>続きまして、その他の(1)子どもたちの成長を願って(平成21年度教育委員会取組み方針)(案)について、ご説明をお願いいたします。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>12月の定例教育委員会で提案いたしまして、その後、課長さん中心に各課で意見を調整しました。これは先ほどご審議していただきました、教育基本方針に基づいて、特に小中学生を対象とした教育委員会の取組方針として考えていただきたいと思ひます。</p> <p>今年のスローガンは“愛情と信頼・深めよう 絆”を第一に掲げたいと思ひます。基本方針としては、「未来を担う新居浜の子どもたちが、自立して社会で生きていく力を身につけるため、教育の質を高め、社会全体で子どもを育てる。」です。</p> <p>次の目標の中で、各具体的項目の整合性を見た時に、以前は“豊かな心を育み、確かな学力を身に付けた子どもを育成する”と“教育環境の整備に努め、信頼される学校づくりを進める”となっていました。それを、“豊かな心を育み、信頼される学校づくりを進める”と“教育環境の整備に努め、確かな学力を身に付けた子どもを育成する”というように変更してはどうか提案いたします。なお、このような箇条書きでの目標設定は、今年からの取組です。</p> <p>それでは、内容について、昨年と特に違う所を説明いたします。◎は実施事項、○は努力・検討事項、下線があるのは新規の取組です。</p>

まず「Ⅰ 豊かな心を育み、信頼される学校づくりを進める。」からご説明いたします。開かれた学校づくりで、これまでは学校の情報公開を進めるということで、学校のホームページ等で学校での取組を地域に知らせるということをしてきました。しかし、これからは学校だけでなく教育委員会も情報公開を進めるべきではないかと思い、教育委員会と付け加えさせていただきました。教育委員会から学校や公民館等へ発信する教育情報を教育委員会のホームページで公開します。例えば通知文等を含め載せていきたいと思えます。教育に興味・関心を持っていただいている市民の方へ、より多くの情報を発信したいという事で、これを入れさせていただきました。

次に、資料2ページにあります「夢広がる学校づくり推進事業」につきましても、平成21年度は14校の小学校で実施します。昨年11月から12月にかけて、教育委員会の事業の評価について外部へ依頼して、議会報告をいたしました。その中で「夢広がる学校づくり推進事業」を更に増やす努力をして欲しいという要望がありましたので、実施校の増加という言葉を入れさせていただきました。

3ページをご覧ください。これまで、子どもたちのいろいろな意見を聞いて、科学奨励賞などを提案してもらった“子どもと教育を語るつどい”を実施してきました。今、やや提案内容が限られてきていると言いますか、もう少し子どもらしいものを提案してほしいという事から、これを発展させて“子ども会議”というものを実施してみてもどうかと思いました。子どもたちが自由に意見を出し合い、自分たちの夢や輝く未来を実現するために意見交換を行う場を設定し、新居浜市子ども夢未来基金を運用し事業化します。実施時期はこれまで通り夏休み中で、小学5年生から中学3年生までを対象に、学校推薦と公募をして、小中合同で実施します。例えば、サッカー選手を招いて練習をさせて欲しいとか、本を読みたいので読み聞かせの人を呼んでもらいたいとか、宇宙飛行士を呼んで欲しい等、子どもたちの要望を聞いて、子どもたちが自分の夢に近づけるような企画が出来たらいいなと思い、このようにしました。

次に「図書館活用教育の推進への取組」につきましても、学校図書館支援推進事業が3か年計画の2年目に入ります。来年度は大生院小学校・中学校、北中学校の図書館改造・整備を行います。なお、放課後児童クラブにも図書館の本の貸出の努力をしていきたいと思っております。

次に、「Ⅱ 一人一人を大切にすることをすべての教育活動の基本とする」という事につきましても、教育委員会としまして、不登校対策を第一に掲げております。

今まで、防災教育等いろいろな形で推進校を決定してはおりますが、不登校問題がなかなか解決しないため、教育委員会の最重要課題

とするのであれば、平成21年度から不登校支援推進校の取組として指定校を決めて、どのように取組んでいけばいいのかを研究していきたいと思っています。

いじめ・不登校が学校の方でなかなか見つけられない、そうなった原因を探るという意味で、学校だけでなく保護者の方でもできる方法として、いじめ・不登校チェックシート（子どものサイン発見シート）を作成したいと思っています。それを、教育委員会のホームページに載せて、ダウンロードして使用できるようにしたいと思います。

次に、5ページの努力目標として「自学自習支援事業」ですが、昨年も各小・中学校で長期休業中に授業の進んでいない子どもや勉強したい子どもたちを教えていました。それを補充学習・発展学習を行うというかたちで先生たちに取組んで欲しいと掲げています。

6ページの特別支援教育についてですが、これは議会で承認をいただかないといけないのですが、現在ある発達支援準備室を発達支援課としていきたいと思っています。そこでは専門家による保育園、幼稚園、小・中学校での巡回相談、個別相談を実施し、障がいや発達課題の早期対応、継続支援の充実を図りたいと思います。0歳児から18歳の就業までの子どもの対応を行います。特にその中で、個別の教育支援計画の作成を行い一元的に調査し、小・中学校、保育園・幼稚園の連携を取っていきたいと思っています。

次に、新居浜市へも外国の方が来ており、子どもたちが就学しているようなケースも多くなってきました。そのため、外国人の児童生徒の就学を応援するという事で、新居浜日本語の会と協働して日本語の指導又は学校生活に対応するための協力を、教育委員会としてやりたいと思っています。

7ページのキャリア教育についてですが、昨年同様、3日以上職場体験活動をしていきます。船木中学校の取組が、2008年度の文部科学大臣表彰に選ばれ、県で表彰を受けました。平成17年度より19年度までの3か年にわたりキャリア教育推進校となり研究指定をされ地域の協力を得て取り組んできた成果に対しての表彰でした。

次に、昨年度から違う項目として、郷土の文化・歴史を知ることにより郷土への誇り・愛着を醸成する目的で、「郷土愛を育む取組」という新たな項目を作りました。

「V 教育環境の整備に努め、確かな学力を身に付けた子どもを育成する」について、その確かな学力の向上の中で、小学校の英語については、教育課程特例指定校という特区申請を受けていましたが、来年から新しい教育課程により先取りをして3年間の移行措置があり小学校5・6年生の英語教育を実施すると文科省からありました。そのため小学校の英語教育が全国的になったことから教育過程特例校指定校廃止申請というのをしていきたいと思っています。それに対して、

教育特区で培った成果を元に、英語を通じたコミュニケーション能力を育成したいということでALTと英語指導員の増員を要請していきたいと思っております。

次に9ページの「人にやさしいまちづくり」の中に環境教育があります。垣生小学校がスクールエコ運動の認定校になっておりましたが、平成20年度から角野小学校と神郷小学校が新たにスクールエコ運動の認定校となりました。このことが先日のある新聞に『児童生き生きエコ運動』と取り上げられました。この記事につきましてはお手元の資料をご覧ください。垣生小学校に始まり、この2校、そして他の小・中学校にも進めていきたいと思っております。最終的には、学校だけではなく家庭での取組まで広げていきたいと思っております。認定校の3校がそれぞれ違った取組をしていて、参考になるのではないかと思います。

次に防災について、金栄小学校校区と若宮小学校校区で、地域と学校が一体となって地域防災スクールモデル事業に取り組むことになりました。これは国の支援を受けて実施する予定です。

10ページの学校教育環境の整備については、こちらも議会の承認を受けての事になります。現在までの耐震化率は約60%となっておりますが、平成21年度は、惣開小、神郷小、大生院小、角野小、泉川中、角野中、船木中の校舎の耐震工事を始めます。なお、神郷小の北棟と中萩小の南棟、角野小の中の3棟と別子中と川東中の設計並びに、大規模改造に取り組みたいと思っております。北中の体育館については、改築の設計行う予定ですので議会の承認を得たいと思っております。

「Ⅵ 大人の責務・役割を明確にすることで、学校、家庭、地域の連携・協力を強化し、社会全体の教育力を高める。」という事で、学社融合の推進への取組として、学校支援ボランティア活用制度、これは学校支援地域本部で国の委託事業ですが、来年度は、惣開小、浮島小、垣生小、多喜浜小、北中、泉川中、船木中、中萩中、角野中で実施していきたいと思っております。この取組については、市政だよりの2月号に惣開の取組が紹介されますので、ご覧ください。

12ページの「子ども版とっておきの新居浜検定」についてですが、現在、商工会議所で「とっておきの新居浜検定」を実施しております。小学生が受験したところ、なかなか全体的なレベルには追い付けなかったという事でした。小学校3～6年生までの授業の中に、地域学習が含まれているため、子どもたちを支援したいということ、また子どもたちに新居浜に誇りを持って欲しいということから「子ども版とっておきの新居浜検定」を商工会議所と連携して実施していきたいと思っております。

平成20年度と変化のあったところを中心に説明させていただきました。このことについて、教育委員さんのご意見を次の定例会に

	<p>ただきたいと思います。なお、各小・中学校へは、1月14日の臨時校長会にてこの案を提案する予定です。そして各小・中学校で職員会等を開いてもらい、また、PTAにも相談をしていただき、1月31日までに意見を聞き、2月中に整理して3月の定例教育委員会で正式決定として提案させていただきたいと思います。そして3月の定例教育委員会で決定した後、PTA会長会や臨時校長会等で学校に通知し、春休みに全ての準備をし、4月からの取組としてやっていきたいと思っています。</p> <p>最後に、市P連と連携して実施するものについて、ご説明いたします。まず、1ページの教育懇談会について、1学期中に中学校校区で市P連・単Pの協力を得て開催するように切り替えていきたいと考えております。そして学校へ行こうデーについても、小学校は10月2日、中学校は9月25日にPTAの協力をいただき実施したいと思っています。この2つの項目につきましては、市P連会長とお話をしておりますので、更にこの案を提案していきたいと思っています。以上です。</p>
小野委員長	<p>ありがとうございます。ますます内容も充実してきていると感じます。一つ確認をしたいのですが、教育委員の意見を今月末までにということですか。</p>
阿部教育長	<p>いいえ。2月の定例教育委員会の時にお願いします。この案に訂正等があれば赤ペンで修正案を書き込んでいただけたらと思います。</p>
小野委員長	<p>わかりました。そして3月の定例教育委員会で正式決定するということですね。</p>
阿部教育長	<p>はい。</p>
小野委員長	<p>はい、わかりました。今日のご説明のところで、何かご質問はございませんか。それでは来月の定例会の時によろしく願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>それではその他の(2)平成21年度教育委員会臨時・非常勤職員の公募についてご説明をお願いいたします。</p>
日野総括次長	<p>お手元に「平成21年度教育委員会臨時・非常勤職員の採用試験について」の資料があると思いますのでご覧下さい。今回の7件につきましては、市政だより2月号に掲載し、公募したいと思っています。まず、図書館司書(角野分館)非常勤職員1名でございませぬ。公募期間・採用試験・試験内容につきましては後ほどお目通しいただきたい</p>

<p>小野委員長</p>	<p>と思います。栄養士は臨時職員で4名程度、情緒障がい特別支援学級指導員は非常勤職員1名で、学校生活介助員は非常勤職員でこれは対象児童数によりますので、採用人数については今のところ未定ですが、市政だより2月号には明記して公募したいと思います。英語指導員は非常勤職員で1名程度、幼稚園教諭は臨時職員2名程度、用務員については非常勤職員で5名程度でございます。なお、市政だよりの3月号でも引き続き必要な職員の公募をする予定です。</p> <p>ありがとうございました。何かご質問はございませんか。それでは他の資料のご説明を願いますでしょうか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>お手元の生徒指導関係の資料をご覧ください。平成20年12月末まで、小・中学生合わせて113名の子こどもたちが30日以上欠席しています。30日以上欠席した児童生徒の全児童生徒数に占める割合から見ると、中学校につきましては全国平均を上回っています。全国平均2.91%で新居浜市は3.27%です。学校も保護者もいろいろな取組をしていますが、この113名という数字につきましては真摯に受け止めていきたいと思っております。そういうことで先ほどの取組をあげました。</p> <p>＜資料に基づき説明＞</p> <p>中学生のうち8人は、12月は無欠席または1日だけの欠席で、好転してきていると捉えてよいと思います。1月に入ってまだわずかですが、今日も登校していると聞いています。しかしこれらの生徒も30日以上欠席しているとカウントされ113名の中に入っています。小学生では、不安で30日以上欠席している子どもも登校できるようになっております。</p> <p>ただ、これだけの子どもたちが学校を休むという事で、教育委員会として今までと同じ取組をしているだけでは解決には結びつかないでしょうし、子どもの心の強化の解決にも結びつかないと思います。抜本的な対策が必要ではないのかと思いましたがことから、指定校を決めて、より専門的な知識を持った方にも参加していただき、ご意見をいただきながら組織的な取組をこれまで以上にしていきたいと思っております。</p> <p>次にいじめに関するご報告ですが、12月につきましては小・中共に報告がありませんでした。4月からの累積で言いますと小学校31件、中学校18件で合計49件です。そして、学校側の把握では、いじめについては解消していると捉えています。</p> <p>次に、不審者情報については、4月から12月までの合計が19件でした。実は11月に6件、12月5件と多くなりました。それも下半身の露出というのが多くなったので危機感を感じました。子どもに</p>

<p>小野委員長</p>	<p>よっては、精神的なショックに陥ることもありますし、今後のケアも必要ではないかと思います。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今のご報告で、何かご意見はございませんか。不登校生のうち、8名ほど好転してきたと言われていましたが、これは特別に何かしたのですか。</p> <p>はい。担当に確認したところ、特別なことは無いようなのです。日頃から子どもが休んだら家庭訪問したり、会えない場合は手紙を書くなど、教師と子どもとの人間関係を少しずつ構築することによって子どもが先生と会うために学校へ行く、そして教室へ行ってみようかなというようになるのだと思います。また、修学旅行を契機に学校へ行き始めたということもあるようです。</p> <p>子どもの周りにいる大人、すなわち保護者と学校・教師との人間関係が崩れている場合は、非常に難しいです。不登校の子どもが家族が子どもを理解しようというムードでないと難しいです。学校の教師も電話や訪問等の連絡を兼ねてのアドバイスが子どもに自信を持たせて学校へ行けるようにさせたようです。特別なことはなく、やはり日々の実践かなと思います。教師の気持ちが伝われば子どもは学校へ行くようになるのではと感じました。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>担任の先生の地道なご努力が成果に繋がったということですね。学校別不登校の発生率がでておりますが、平成18年度から20年度12月までのパーセントが増えている学校については、来年度の取組方針の中にもありましたが、特に全体的な指導をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。その他何かございませんか。</p>
<p>栗田委員</p>	<p>不登校の子どもさんやそのご家族と関わっていると、先生方が一生懸命取り組んでくださっていると感じます。先生のキャラクターと申しますか、ニコッと笑ってもらったから学校へ行けるようになったということも聞きました。相性のようなものもあるのかなと思いました。先ほど教育長も言われた不登校支援推進校に、特別なキャラクターの先生を多く配置するというようなこと、または、指導力のある先生を多く配置するというようなことあるのですか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>指定校の構想としましては、小・中学校の繋がりについてです。私が思うには、中学校へ来て不登校になったが小学生の時はそうでなかったという事はあまり無いと考えています。その要因は小学校時代から何かしらあったのではないかと考えています。そして中学校へ入って来た事で教育課程の変遷や子ども自身の自立心や批判力等が目覚</p>

	<p>めて、そちらの方が強くなって意思表示として学校へ行かないというようになるのかなと思っております。ですから中学校3年間というスパンで見るのではなく、義務教育の小・中学校9年間をスパンとして考えた教育課程の取組を考えてみたいと思います。</p> <p>中学校の教師が小学校へ行って授業ができないか、小学校の授業を中学校でも再学習することができないのかという調査研究をしてみたいと思っております。しかしこれは小・中両方の教員免許を持っている教員の配置が必要という資格等の問題もありますし、県との話し合いも必要です。そのあたりも含め、学校と一体化するというのではなくて、21年度はまず、教育課程での学習指導要領内で考えていこうと思っております。そしてできる事を見つけて、やっていきたいと考えております。我々が考えた事を学校現場でしようとするのは実際には無理な場合があります。現場の先生にもどう取組んでいったらいいのか、今までのように先生と生徒が1対1でやり取りする中で解決するのではなく、生徒として解決方法を見つけられないかという調査研究を行いたいと思います。</p>
<p>栗田委員</p>	<p>発達支援課になる際にそのことも複合的に考えていただけないのでしょうか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>発達支援準備室が発達支援課になって体制が整わないと、それは難しいです。そういった関わりが必要な子どもは関わってもらいますが、特別支援と不登校生とを一緒に対応するというのは、困難な状況になると思います。</p>
<p>栗田委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>子どもたちにとって、授業の内容がわかれば学校はいい所だし、子ども同士の関わりや子どもと先生の関わりの中で温かいものを感じたら、そこは行きやすい学校だと思います。不登校が解決の方向に向いている8人は、学級担任の先生との日々の積み上げでいい方向に向いていると思います。まず、学校自身が、不登校の子どもたちを減らすために本気でどう関わっていくかについて日々悩んでいるかという事が大事だと思います。家庭訪問も行き過ぎるのはよくないと思いますし、行かなくてもいけない。声掛けも短い一言で人間関係が崩れる場合もあるし、ほんの一言で“えっ”と振り向く場合もあるし、素朴なものをもう一回見直したら一人でも二人でも救えるような気がします。そういう学校の取組に対して教育委員会が今考えている方法で支援すればいいのではないかと思います。</p>

<p>栗田委員</p>	<p>宇野委員さんのご意見に付け加えさせていただきます。高専のGPものづくりの際に、今治の先生がお話されたのですが、女の子で体育の苦手な子がいて上手くできた時にみんなの前では褒めずに、別のところに呼んで褒めるとのことでした。苦手意識を持っている子をみんなの前で褒めると、かえって恥ずかしいと感じてそれが不登校のきっかけになるという話もあるようです。この先生のおっしゃるとおり、一言の声掛けでも、先生方に考えて欲しいと思います。</p>
<p>太田委員</p>	<p>先生方もご苦労なさっていると思うのですが、担任の先生が学校でどんなところに困っているのか、例えば家庭に行っても親御さんの理解が得られない、子どもさんとのコンタクトが取りづらいなど、そのような事情を教育委員会が把握する術はあるのでしょうか。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>例えば、学校訪問の時に、現場の先生との時間がうまく合えば、実地でご苦労なさっている点等の報告をいただくのは可能でしょうか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>まず担任が困っている事について、毎年、担任と不登校の子どもとその保護者にアンケートを取っていますので把握しています。また、毎月、不登校生についての報告をもらっています。その中で現在困っていることについて、また、現状維持なのか悪化しているのか、好転しているのか等についても報告してもらっています。悪化の場合は、何故かという理由も書いてもらっていますので、学校と学校長は把握できています。現場の声を聞くことが出来ないかという事につきましては、今年4月以降の学校訪問について検討してみたいと思います。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>特にずっと状況の悪い学校と良くなっている学校とをぜひ訪問校に入れていただきたいと思います。よろしく願いいたします。 よろしいでしょうか。それでは次のご報告をお願いいたします。</p>
<p>坂本図書館長</p>	<p>図書館から新居浜市立図書館運営懇談会開催のお知らせです。教育委員さんにはお手元に資料をお配りしてありますのでご覧ください。2月6日午後3時30分から午後5時の間、図書館多目的ホールにおきまして事業報告と図書館運営についての懇談会を行います。会議は全部公開しておりますので、よろしく願いいたします。 次に全国訪問おはなし隊が図書館の駐車場にきます。2月8日の日曜日に子どもたちに車で遊んでもらって、図書館の多目的ホールでボランティアの方のおはなし会をするという催し物がありますので、お知り合いの方にお知らせください。よろしく願いいたします。</p>
<p>池内事務局長</p>	<p>お手元に、先月の定例会でご報告しました平成20年度教育委員会</p>

	<p>取組方針の進捗状況についての資料をお配りしております。これは、12月末現在の状況となっております。この状態で、教育委員会のホームページに掲載させていただきたいと思っております。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>その他、よろしいでしょうか。3月の卒業式の予定がわかりましたら、お教え願いたいのですが。</p> <p>中学校が3月17日、小学校が3月24日です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次回の定例会は、2月5日（木）16時からといたします。</p> <p>以上をもちまして平成21年第1回教育委員会定例会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>
--	---

